

アンモナイトの殻の中身は？

アンモナイトといえば、渦巻き状の化石を思い浮かべると思いますが、梅雨の時期によく見かけるカタツムリや、海にいるサザエなどと同じ巻貝の仲間：：ではありません！なんと、頭足類と呼ばれるイカやタコの仲間なのです。

アンモナイトの殻の外見は巻貝の殻とよく似ていますが、役割や中の仕組みがずいぶん違います。例えば、カタツムリの殻には外敵や乾燥から身を守る役割があり、殻の中に柔らかく湿った体を収納することができます。一方、アンモナイトの殻の中は隔壁と呼ばれる壁で仕切られているので、カタツムリのように殻の中に体を全て納めることはできません。では、アンモナイ



鉱物で埋まっている小部屋もありますが生きていた時は空洞でした。

トの殻の役割は何だったのでしょうか？実は、浮力を生み出す装置として役立っていたと考えられているのです。壁で仕切られたいくつもの部屋にはガスが入っていて、アンモナイトはその浮力を利用して、海底付近を漂う生活を送っていたのではないかと考えられています。当館でも、浮力を生み出す隔壁の構造が観察できる、アンモナイトの実物標本を展示しています。身近なカタツムリとアンモナイトの違いを観察してみてください。

6月 イベントカレンダー

ショー

ワークショップ

おはなし

各イベントの時間・定員・申込方法などは科学館ホームページで確認してください。

27日
小学校高学年向け理科実験室
通信機をつくらう

おはなしライブ

26日
ミニアレンジフラワーづくり

20日
小学校中学年向けかがく教室
電流イライラ棒をつくらう

19日
ミニミニマエビなどすくい

13日
小学校低学年向けかがく工作室
江戸時代のおもちや
くを舞うツバメをつくらう

レクチャーシリーズ★オンライン
教えて！リュウグウ

12日
ミニミニマエビなどすくい

6日
首長竜をつくらう

5日
レッツ！
エンジヨイ★サイエンス

レクチャーシリーズ★オンライン

教えて！リュウグウ

小惑星と“生命の海”のひみつ

6～11月
(全6回開催)

ID 0206231

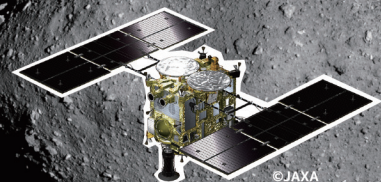
現在の惑星科学研究の最先端とリュウグウのサンプルへの期待を語ります。

第1回 リュウグウがきつ！教えてくれる 太陽系のはじまり

とき 6月12日 午後7時～8時10分 予約不要・参加無料

YouTube ライブで生配信！

講師 東京大学宇宙惑星科学機構教授 橋 省吾



©JAXA、東京大、高知大、立教大、名古屋大、千葉工大、明治大、会津大、産総研

【協力】東京大学大学院理学系研究科宇宙惑星科学機構 UTOPS、学術変革領域研究 (A) 次世代アストロケミストリー